

第1回 若手・中堅職員 政策提案プロジェクト

2025.6.25 Fri. PM1:00~PM3:00



ワーク



個人ワークでは、インターネット等で調べながら、弥富市のふるさと納税の現状を把握し、付箋に書き出す作業を、グループワークでは、それぞれが書き出した付箋の内容をグループ内で共有し、弥富市のふるさと納税の特徴や情報等を整理する作業を行いました。
最後には、両チームの内容を共有し、異なる意見や考え方に触れたことで、理解を深めることができました。

令和元年度を最後に休止していた「若手・中堅職員政策提案プロジェクト」が再開しました！令和元年度と同様に、大学教授を行財政アドバイザーとして招き、政策提案能力の習得を目指します。

今回は、2つのチーム（AとB）に分かれて、同じテーマで提案を行います。

令和7年度の政策テーマは…

ふるさとやとみ応援寄附金 (ふるさと納税)の活性化

名古屋市立大学 人文社会学部
准教授 三浦 哲司 先生



自己紹介



今回のプロジェクトは、1年目～8年目の職員が参加しています。はじめに、自分の趣味等について、マトリクス図を使い整理しました。その後、各グループ内での自己紹介を通して、共通点を見つけたり、お互いの新たな魅力に気づいたりしながら、交流を深めました。

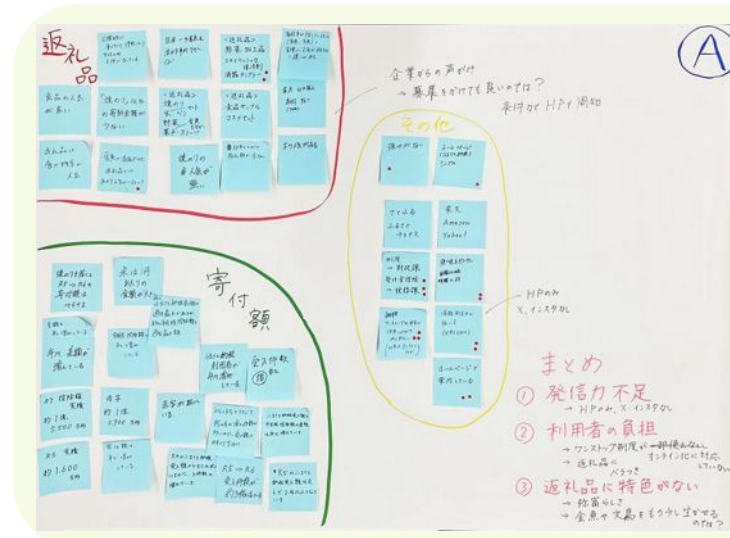
マトリクス図 ➡



概説



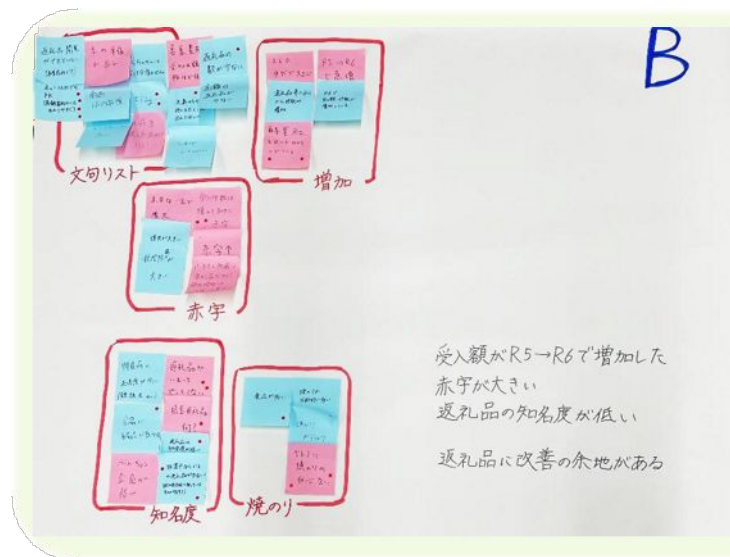
行財政アドバイザーより、政策形成とふるさと納税に関する講義を受けました。
政策形成については、政策の構成要素や手段等を、ふるさと納税については、その仕組みや自治体間の格差等を学びました。



Aチーム

<参加者の声>

地方自治を専門とする講師の方のお話を聞き、これまで曖昧だった政策の仕組みなどを理解することができ、大変勉強になりました。
また、異なる部署や経験年数の職員と話すことで視野が広がったと感じています。



Bチーム

<参加者の声>

AグループとBグループで着目している点が違っており、興味深かったです。
今回収集した情報が、今後の政策提案の基礎情報になると思うので、気づきを忘れないように次に繋げたいと思います。

第2回 若手・中堅職員 政策提案プロジェクト

2025.8.1 Fri. PM1:00~PM3:00

三浦先生よりアイスブレイクを兼ねて、ふるさと納税の返礼品に関するクイズが出題されました。右下の写真は、奈良県東吉野村の返礼品である木製のブロックです。この寄附金額はいくらでしょうか？

- ①13,000円の寄付
- ②25,000円の寄付
- ③41,000円の寄付

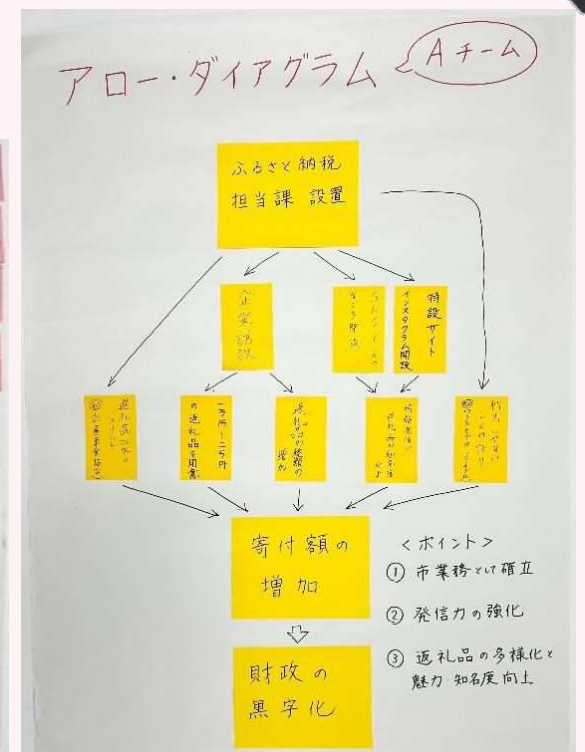


ワークⅠ

まずはじめに、第1回の宿題である「全国自治体におけるふるさと納税の状況」について、各自が調べてきた内容を付箋に書き出しました。

また、全国自治体と比較したときの弥富市の現状を把握するため、ふるさと納税が活性化している理想の姿についても洗い出し、その後グループへ共有しました。

つぎに、各個人で出した意見を類型化し、理想像と現状を洗い出すことで、弥富市における課題を整理しました。

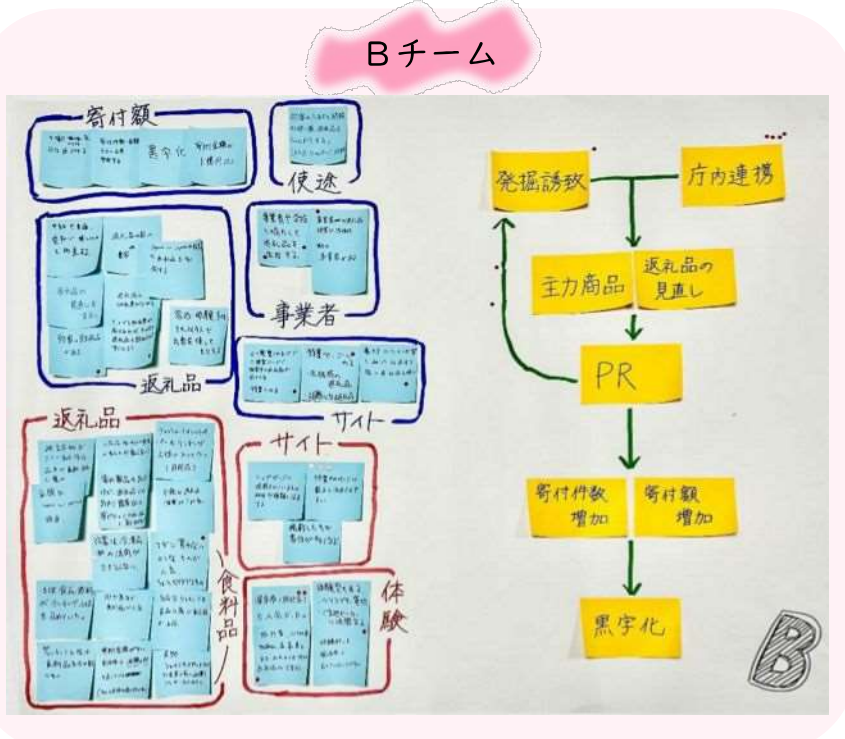


ワークⅡ

ワークⅠで洗い出した内容の因果関係を整理し、解決すべき課題の把握や焦点を当てる課題を精査しました。最後に、ふるさと納税を活性化するための流れを「アロー・ダイアグラム」という手法を用いて図表化しました。

<アロー・ダイアグラムとは>

さまざまな課題解決に向け、物事の要素の関係性や時間的な順序を視覚化・図式化して表現する方法



全国自治体の現状

- 【返礼品】食品や日用品が人気
- 【サイト】特設ページが存在する
- 【寄付額】1~3万円が人気
- 【その他】お礼品交換チケット

弥富市が目指す理想

- 【返礼品】返礼品の種類を増やす
- 【サイト】特設ページに掲載される
- 【寄付額】財政の黒字化
- 【その他】返礼品以外の価値創出



若手を温かく見守る先輩方！

第3回 若手・中堅職員 政策提案プロジェクト

2025. 8. 15 Fri. PM1:00~PM3:00

ワーク



発表



今回は、グループワークがメインの回となりました。

政策テーマである「ふるさと納税が活性化」の活性化とは何を意味しているのか、どういう状況になれば活性化していると判断できるのか等、活性化している／していないという判断基準を明確にするための作業を行いました。

そのために、現在の弥富市のふるさと納税がどのような状況なのか、状況から捉えられる課題は何か、課題からどのような方向性で今後進めていくかをワークシートに沿って、整理しました。

中間報告会を視野に入れつつ、それぞれのチームが席を立ち、活発なグループワークが行われていました。

三浦先生よりアイスブレイクを兼ねて、今回もふるさと納税の返礼品に関するクイズが出題されました。右下の写真は、愛知県犬山市の返礼品であるベビーチェアです。

この寄附金額はいくらでしょうか？

- ①25,000円の寄付
- ②39,000円の寄付
- ③52,000円の寄付

2023年10月の制度改正で「当該地方団体の区域内で生産されたものであること」と地場産品基準が改正されたことにより、海外で生産させていたこのベビーチェアを含め、現在、一部の製品は寄附対象外となっています。



Aチーム

<参加者の声1>

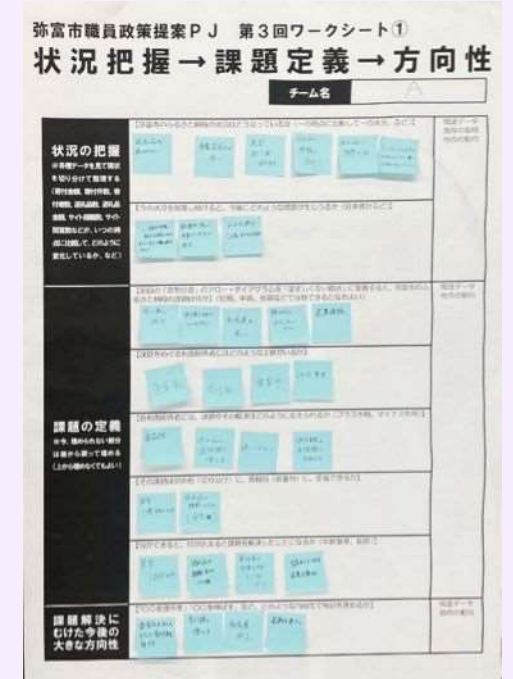
前回までのように自由に意見を出し合う段階から一歩進み、提案の方向性を絞り込む良い機会となりました。

実際に政策として成立させるためには、より具体性や裏付けが不可欠であることを実感しました。

<参加者の声2>

今回のワークシートの設問が少し難しく、前回やった内容と同じことしか言えず、前回との違いがあまりなかった。

もう少し他の自治体のふるさと納税の取り組みやふるさと納税の仕組みを知る必要があると改めて実感した。



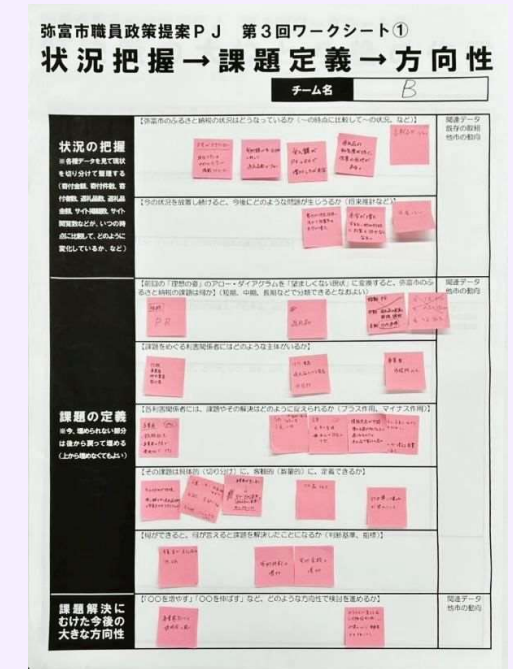
Bチーム

<参加者の声3>

ワークシートを埋めるにあたり、課題の掘り下げが難しいと感じた。達成したい目標、目標達成のための方針、具体例というように3段階に分ける作業を行ったが、うまく進まなかったように感じた。うまく進むように、もう片方のグループも参考にしながら、自分たちの意見をまとめたい。

<参加者の声4>

今回、ふるさと納税の課題の定義をすることが難しく、グループでもなかなか意見が出てこなかったのが次回までに他市町村の動向を参考にしつつ、もっと考えていきたいと思いました。



第4回 若手・中堅職員 政策提案プロジェクト

2025.9.12 Fri. PM1:00~PM3:00

今回も前回に引き続き、ワークシートに沿って作業を進めつつ、中間報告会を視野に入れたグループワークが中心の回となりました。

また、前回の感想において、参加者から「課題の定義が難しい。」という意見が多く寄せられたため、三浦先生より「〇〇をいかにして〇〇するか？」のように、課題を疑問形に変換して捉えてみたり、あえて、その課題を取り扱う理由付けを考えてみたりする等、改めて課題定義の方法について、講義をしていただきました。



ワーク



Aチーム

<参加者の声>

テーマに対し、各チーム違ったアプローチの仕方が見えてきて、面白く感じました。(中略)

弥富市のオリジナリティを出せるかということも、正直難しいと思いますが、見出せれば強みになると感じます。

弥富市職員政策提案P J 第3回ワークシート① 状況把握→課題定義→方向性

チーム名 A

状況の把握 ※各種データを基に現状を切り分けて整理する(寄付金、寄付件数、寄付施設、遊休施設、遊休施設数、サイト稼働率、サイト稼働数などが、いつの時点に比較して、どのように変化しているか、など)	<p>【弥富市のふるさと納税の状況はどうなっているか(〜の時点に比較して〜の状況、など)】</p> <p>ふるさと納税の状況</p> <p>【今の状況を改善し続けると、今後どのような課題が生じうるか(将来推計など)】</p> <p>課題の把握</p>	関係データ 既存の取組 他市の動向
課題の定義 ※今、掘められない部分は後から掘って埋める(上から埋めてもよい)	<p>【前回の「理想の姿」のアロー・ダイアグラムを「望ましくない現状」に変換することで、ふるさと納税の課題は何か(短期、中期、長期などで分類できるとよい)】</p> <p>課題の切り分け</p> <p>【課題をめぐり利害関係者にはどのような主体がいるか】</p> <p>利害関係者</p> <p>【各利害関係者には、課題やその解決はどのように捉えられるか(プラス作用、マイナス作用)】</p> <p>課題の定義</p> <p>【その課題は具体的な(切り分け)に、客観的(数値的)に、定義できるか】</p> <p>課題の定義</p> <p>【何ができると、何が言えると課題を解決したことになるか(判断基準、指標)】</p> <p>課題の定義</p>	関係データ 既存の取組 他市の動向
課題解決にむけた今後の大きな方向性	<p>【「〇〇を増やす」「〇〇を伸ばす」など、どのような方向性で検討を進めるか】</p> <p>今後の方向性</p>	関係データ 既存の取組 他市の動向

弥富市職員政策提案P J 第3回ワークシート② 解決策の大枠と今後の作業

チーム名 A

対象(人など)の切り分けと主ターゲット	<p>【対象(人など)の切り分けと主ターゲット】</p> <p>主ターゲット</p>	関係データ 既存の取組 他市の動向
その対象をターゲットにする理由	<p>【その対象をターゲットにする理由】</p> <p>理由</p>	関係データ 既存の取組 他市の動向
ターゲットには何が強みとなるか	<p>【ターゲットには何が強みとなるか】</p> <p>強み</p>	関係データ 既存の取組 他市の動向
既に目標値はあるか、自ら設定するかどうか	<p>【既に目標値はあるか、自ら設定するかどうか】</p> <p>目標値</p>	関係データ 既存の取組 他市の動向
目標の達成に向けた取組の5W2H	<p>【目標の達成に向けた取組の5W2H】</p> <p>5W2H</p>	関係データ 既存の取組 他市の動向
関係法令 既存事業	<p>【関係法令 既存事業】</p> <p>関係法令 既存事業</p>	関係データ 既存の取組 他市の動向
今後の作業	<p>【今後の作業】</p> <p>今後の作業</p>	関係データ 既存の取組 他市の動向

Bチーム

<参加者の声>

課題に着目した理由や、目標達成の指標など、掘り下げるべき点がたくさん出ました。特に事業成果の指標は何を参照すべきかについては要検討事項なので、すり合わせを行っていきます。

弥富市職員政策提案P J 第3回ワークシート① 状況把握→課題定義→方向性

チーム名 B

状況の把握 ※各種データを基に現状を切り分けて整理する(寄付金、寄付件数、寄付施設、遊休施設、遊休施設数、サイト稼働率、サイト稼働数などが、いつの時点に比較して、どのように変化しているか、など)	<p>【弥富市のふるさと納税の状況はどうなっているか(〜の時点に比較して〜の状況、など)】</p> <p>ふるさと納税の状況</p> <p>【今の状況を改善し続けると、今後どのような課題が生じうるか(将来推計など)】</p> <p>課題の把握</p>	関係データ 既存の取組 他市の動向
課題の定義 ※今、掘められない部分は後から掘って埋める(上から埋めてもよい)	<p>【前回の「理想の姿」のアロー・ダイアグラムを「望ましくない現状」に変換することで、ふるさと納税の課題は何か(短期、中期、長期などで分類できるとよい)】</p> <p>課題の切り分け</p> <p>【課題をめぐり利害関係者にはどのような主体がいるか】</p> <p>利害関係者</p> <p>【各利害関係者には、課題やその解決はどのように捉えられるか(プラス作用、マイナス作用)】</p> <p>課題の定義</p> <p>【その課題は具体的な(切り分け)に、客観的(数値的)に、定義できるか】</p> <p>課題の定義</p> <p>【何ができると、何が言えると課題を解決したことになるか(判断基準、指標)】</p> <p>課題の定義</p>	関係データ 既存の取組 他市の動向
課題解決にむけた今後の大きな方向性	<p>【「〇〇を増やす」「〇〇を伸ばす」など、どのような方向性で検討を進めるか】</p> <p>今後の方向性</p>	関係データ 既存の取組 他市の動向

弥富市職員政策提案P J 第3回ワークシート② 解決策の大枠と今後の作業

チーム名 B

対象(人など)の切り分けと主ターゲット	<p>【対象(人など)の切り分けと主ターゲット】</p> <p>主ターゲット</p>	関係データ 既存の取組 他市の動向
その対象をターゲットにする理由	<p>【その対象をターゲットにする理由】</p> <p>理由</p>	関係データ 既存の取組 他市の動向
ターゲットには何が強みとなるか	<p>【ターゲットには何が強みとなるか】</p> <p>強み</p>	関係データ 既存の取組 他市の動向
既に目標値はあるか、自ら設定するかどうか	<p>【既に目標値はあるか、自ら設定するかどうか】</p> <p>目標値</p>	関係データ 既存の取組 他市の動向
目標の達成に向けた取組の5W2H	<p>【目標の達成に向けた取組の5W2H】</p> <p>5W2H</p>	関係データ 既存の取組 他市の動向
関係法令 既存事業	<p>【関係法令 既存事業】</p> <p>関係法令 既存事業</p>	関係データ 既存の取組 他市の動向
今後の作業	<p>【今後の作業】</p> <p>今後の作業</p>	関係データ 既存の取組 他市の動向

中間報告 若手・中堅職員 政策提案プロジェクト

2025.9.25 Thu. AM10:00~PM0:00

第1回から第4回の活動のまとめとして、三浦先生及び事務局である企画政策課に対して、中間報告を行いました。両チームとも、プロジェクトの活動時間以外でも自主的に集まり、提案内容の具体化に向けた検討を重ねました。

講評や質疑応答を通して、さらに詰めるべき点や課題が明らかになる等、有意義な機会となりました。

プロジェクトとしての活動は、残すところわずか2回となりますが、幹部職員に対する最終報告に向けて、引き続き提案内容のブラッシュアップをしていきます。



発表



考え中...



最終的な目標：“返礼品の種類”をUP↑UP↑ Aチーム

やとみふるさと
チャレンジャーズ!



最終的な目標：“返礼品のPR”をUP↑UP↑ Bチーム

弥富市職員政策提案PJ 第3回ワークシート① 状況把握→課題定義→方向性

チーム名	やとみふるさと チャレンジャーズ
状況の把握	<p>【弥富市のふるさと納税の状況はどうか(他の自治体と比較して)の状況、など】</p> <p>86 寄付額 1,622万円 86 控除額 1億5,455万円</p> <p>返礼品 種類が少ない 特色がない 魅力が足りない 送料が100円以上 送料と比較して大きい</p> <p>【弥富市のふるさと納税の課題は何か(他の自治体と比較して)の状況、など】</p> <p>財源(国)→市民サービスの低下→人口減少</p>
課題の定義	<p>【弥富市のふるさと納税の課題は何か(他の自治体と比較して)の状況、など】</p> <p>長期：寄付額・控除額・差が大きい 中期：寄付額が減少している 短期：魅力的な返礼品が少ない</p> <p>【弥富市のふるさと納税の課題は何か(他の自治体と比較して)の状況、など】</p> <p>寄付者 事業者 NPO法人やミーティング 弥富市 中継業者 やとみつけ登録者</p>
課題解決に向けた今後の大きな方向性	<p>【弥富市のふるさと納税の課題は何か(他の自治体と比較して)の状況、など】</p> <p>「追いつけ! 追いつけ! 弥富市」 赤字・縮小と達成する 控除額の増加は現実的でない判断し返礼品自治体等と連携する</p> <p>【弥富市のふるさと納税の課題は何か(他の自治体と比較して)の状況、など】</p> <p>返礼品の種類を増やす</p>

弥富市職員政策提案PJ 第3回ワークシート② 解決策の大枠と今後の作業

チーム名	やとみふるさと チャレンジャーズ
対象(人など)の切り分けと主ターゲット	<p>【弥富市のふるさと納税の課題は何か(他の自治体と比較して)の状況、など】</p> <p>事業者 寄付者(1~3万円を控除希望)</p> <p>【弥富市のふるさと納税の課題は何か(他の自治体と比較して)の状況、など】</p> <p>その対象をターゲットにする理由は</p> <p>①食品に魅力がある ②食品に魅力がある ③新規参入の可能性</p>
ターゲットには何が強み魅力なのか	<p>【弥富市のふるさと納税の課題は何か(他の自治体と比較して)の状況、など】</p> <p>既目標値はあるか、自ら設定するようになるか</p> <p>R13までに 50件増やす R13までに 50件増やす R13までに 50件増やす</p>
関係法令既存事業	<p>【弥富市のふるさと納税の課題は何か(他の自治体と比較して)の状況、など】</p> <p>今後の作業</p> <p>他自治体の好事例や実績の収集 取組の課題整理する</p>

弥富市職員政策提案PJ 第3回ワークシート① 状況把握→課題定義→方向性

チーム名	B
状況の把握	<p>【弥富市のふるさと納税の状況はどうか(他の自治体と比較して)の状況、など】</p> <p>86 寄付額 1,622万円 86 控除額 1億5,455万円</p> <p>返礼品 種類が少ない 特色がない 魅力が足りない 送料が100円以上 送料と比較して大きい</p> <p>【弥富市のふるさと納税の課題は何か(他の自治体と比較して)の状況、など】</p> <p>財源(国)→市民サービスの低下→人口減少</p>
課題の定義	<p>【弥富市のふるさと納税の課題は何か(他の自治体と比較して)の状況、など】</p> <p>長期：寄付額・控除額・差が大きい 中期：寄付額が減少している 短期：魅力的な返礼品が少ない</p> <p>【弥富市のふるさと納税の課題は何か(他の自治体と比較して)の状況、など】</p> <p>寄付者 事業者 NPO法人やミーティング 弥富市 中継業者 やとみつけ登録者</p>
課題解決に向けた今後の大きな方向性	<p>【弥富市のふるさと納税の課題は何か(他の自治体と比較して)の状況、など】</p> <p>「追いつけ! 追いつけ! 弥富市」 赤字・縮小と達成する 控除額の増加は現実的でない判断し返礼品自治体等と連携する</p> <p>【弥富市のふるさと納税の課題は何か(他の自治体と比較して)の状況、など】</p> <p>返礼品の種類を増やす</p>

弥富市職員政策提案PJ 第3回ワークシート② 解決策の大枠と今後の作業

チーム名	B
対象(人など)の切り分けと主ターゲット	<p>【弥富市のふるさと納税の課題は何か(他の自治体と比較して)の状況、など】</p> <p>事業者 寄付者(1~3万円を控除希望)</p> <p>【弥富市のふるさと納税の課題は何か(他の自治体と比較して)の状況、など】</p> <p>その対象をターゲットにする理由は</p> <p>①食品に魅力がある ②食品に魅力がある ③新規参入の可能性</p>
ターゲットには何が強み魅力なのか	<p>【弥富市のふるさと納税の課題は何か(他の自治体と比較して)の状況、など】</p> <p>既目標値はあるか、自ら設定するようになるか</p> <p>R13までに 50件増やす R13までに 50件増やす R13までに 50件増やす</p>
関係法令既存事業	<p>【弥富市のふるさと納税の課題は何か(他の自治体と比較して)の状況、など】</p> <p>今後の作業</p> <p>他自治体の好事例や実績の収集 取組の課題整理する</p>

【講評(抜粋)】

- ・4月の作業段階から大きく進展しており、また、他市の動向も念入りに勉強していて、説得力があった。
- ・目標達成に向けて、やとみつけの活用や大学との連携を個別に考えているが、組み合わせて考えてみる面白。
- ・ターゲットである事業者の目星を明確にすると良い。

【講評(抜粋)】

- ・発信方法で成功した自治体の事例があり、目の付け所が良い。
- ・PR方法として、弥富市のイベントに限らず、市外のイベントへの出展も一つの手である。
- ・ターゲットは、どのくらいの年齢の子どもをもつ子育て世代を対象とするか、明確にすると良い。また、企業の従業員をターゲットとして検討してみる面白い。

第5回 若手・中堅職員 政策提案プロジェクト

2025.10.16 Thu. AM10:00~AM12:00

市長登場!!



今回は中間報告後初めての回となり、中間報告で挙がった課題やフィードバック等を基に、最終報告までに何をすべきか洗い出す作業を行いました。
また、新たに「iJUMP」や「RESAS」といったツールを活用し、事例調査や分析を行いました。
プロジェクトとしての活動が、残すところあと1回となりました。最終報告に向けて両グループラストスパートをかけていきます。

ワーク



Aチーム

Bチーム

- ・課題の実現性向上
- ・他自治体との差別化

若手・中堅職員 政策提案プロジェクト 第5回 ワークシート

残り2回で必要な作業

・具体的な取組の絞り込み
← 課題に対してどれだけ現実味を持たせられるか(実現可能性)、一方で意外性も必要か
既存の資源を生かす案... イメージもわかりやすい利点も
・取組を裏付ける成功事例を探す
→ 事例が多く見られるものを取組と絞りたい
・「返礼品の種類を増やす」→ 何と、どれだけ、どうやって、いつまで、効果は?
観光客の増加、開発
ターゲット: 寄附者、事業者
弥富市の目指す

2 最終報告会にむけた成果物づくり

提案内容の具体化
募集: 地元企業/個人事業者
茨城女、商工工業

＜具体的な取組の絞り込み＞
官学連携 (愛知大学、愛知学院大学、愛知黎明高校) 商品開発
職人、フランクベリ
業向け説明会、やまおけ交流マルシェ 寄附事業者へのアプローチ

- ・直近5年間の推移確認 (寄附事業者数と返礼品数)

直近5年のふるさと納税 事業者数・返礼品数の伸び率 (R7.4→10.1)

他自治体の動向の把握

- ・芦屋市×武庫川女子大学 フィールドワーク、アンケート調査 → 職員に向けてプレゼン
① 花火観覧イベント
② サロン×スイーツ
- ・弘前市×弘前大学

- ・官学連携を通じた商品開発
- ・企業向け説明会等の事業者に対するアプローチ

- ・共同商品開発 (弘前市×弘前大学)
- ・学生提案プロジェクト (芦屋市×武庫川女子大学)

「RESAS」や「iJUMP」といったツールも活用しつつ、いかに提案に説得力や現実味を持たせられるか、論理が飛躍せず筋道の通ったものに仕上げられるかが課題の一つでもあると思いますので、残りの作業期間で詰めていければと考えています。



- ・提案内容のサブ軸の検討
- ・他自治体の情報収集

若手・中堅職員 政策提案プロジェクト 第5回 ワークシート

1 残り2回で必要な作業

提案内容がバリエーションが、→ Aグループ、Bグループに別れる
① 地元企業/個人事業者、弘前市、武庫川女子大学
② 官学連携 (愛知大学、愛知学院大学、愛知黎明高校)
③ 商品開発 (職人、フランクベリ)
④ 業向け説明会、やまおけ交流マルシェ
⑤ 寄附事業者へのアプローチ

2 最終報告会にむけた成果物づくり

提案内容の具体化
① SNSの開設 (LINEやインスタグラム)
② ふるさと納税に特化した部署の創設

- ・PRの場の選定

データによる裏付け

市内で開催しているイベントの参加者 (観光客の増加)
→ SNSを活用してPRの場を選定

他自治体の動向の把握

- ・芦屋市×武庫川女子大学
- ・弘前市×弘前大学

- ・SNSの開設 (LINEやインスタグラム)
- ・ふるさと納税に特化した部署の創設

- ・チラシやインスタグラムふるさと納税担当課を中心に情報収集

最終報告に向けてスライドの作成等も同時に進めていく必要がありますが、内容についてまだ検討の余地がある部分も多いため、これまでに出た意見を見直しつつ提案内容を固めていきたいと考えています。残り一回となりましたが、まだ改善すべきところは考え直してより納得できる内容に変えていきたいです。(一部抜粋)



最終報告会 若手・中堅職員 政策提案プロジェクト

2025.11.27 Thu. AM9:00~AM12:00

6月から5か月間にわたり取り組んできた本プロジェクトがついに完結しました。最終報告会では、これまでの集大成として、市長をはじめとする幹部職員へ「ふるさと納税の活性化」に対する提言を行い、直接意見をいただくことができました。また、最終報告会の直前では、両チームとも自主的に集まり、提言内容の最終調整を行うなど、完成度の向上に努めました。

参加者の声

普段仕事では関わらない職員と関りが持てることにより、考え方など勉強になることが多かったです。時間外での作業が多くなってしまいましたが、チーム全員で完成できたので達成感がありました。

プロジェクトの参加を機に、今後は日常業務の中でも、業務改善や新規事業等、必要に応じて自ら提案できるようになりたいと思いました。

最終報告会までの準備にたくさん時間をかけた分、市長を始めとした幹部の方々が真剣に検討すると言ってくただけでも、やりがいや達成感が感じられました。

日常業務では関わることのない他課の方との交流や、意見交換、ふるさと納税に対する知識を習得し自分自身の視野も広がったと感じています。全体を通して非常に貴重な経験となり、参加して本当に良かったと感じています。

同年代の職員と意見を交わし、ひとつのものをつくり上げることができ達成感と充実感がありました。チームメンバーをはじめ、多くの方の支えがありとても楽しい時間を過ごさせてもらったことに感謝しています。

政策提案プロジェクトを通じて、政策形成の仕方・提案の方法について学ぶことができたので、今後の業務に活かしていきたいと思いました。

市長、副市長、部長などの幹部の前で発表できたことがとてもいい経験となりました。

約5か月という長い期間、グループ内で話し合い、それぞれの意見を交換し、最後に満足のいく発表ができて、とてもいい経験になりました。

普段交流のない部署とも本プロジェクトを通じて交流ができて良かったです。それぞれの業務からの知識で事業を考えていたこともあり、大きな事業を進めるうえでは連携して進める必要性を感じました。

本プロジェクトは、提案して終わりではなく、いかに形作るかが重要だと思います。弥富市としての実行力に期待するとともに、引き続き次年度以降の開催も願っています。約5か月間、ありがとうございました！

中々、若手・中堅職員の意見を言う場が無いのが現状の弥富市だと思うので、貴重な経験でした。



Aチーム

「寄附額を増やして増やして増やしてまいります」

Plan 1

事業者向け説明会による新規事業者の獲得



- ・市職員からの説明による事業費ゼロ
- ・既存事業者を含めた意見交換会の併催

Plan 2

産官学連携による魅力的な返礼品開発



- ・実現力(産)×調整力(官)×発想力(学)
- ・既存資源の活用による事業費ゼロ



仲介サイトの閲覧数を毎月1,000PVに！

Bチーム

「#ふるさと納税～バズる返礼品より、ハマる導線～」

Plan 1

イベントへの出展



- ・返礼品の試食や体験ブースの設置
- ・寄附金の使途の公表、返礼品の展示
- ・SNSフォローによる抽選会の実施

Plan 1-2

SNSの開設



- ・ふるさと納税専用SNSの開設
- ・SNSフォローへの特典付与

Plan 1-3

担当課の創設



- ・営業や企画に特化した、ふるさと納税担当課の創設

